



Time:15:00時点

※前回報：12月20日報 Vol:29

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

IMF専務理事は欧米、中国を中心に2023年世界の3割が景気後退すると発言

■ [1月CP] プロパン：\$590 (前月比▲\$60)、ブタン：\$605 (前月比▲\$45) ■ [12月MB平均]：\$357 (前月比▲\$83)

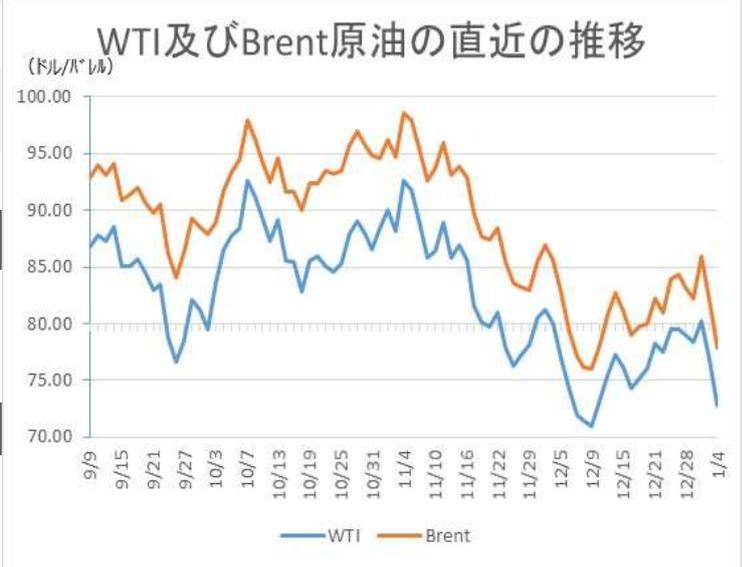
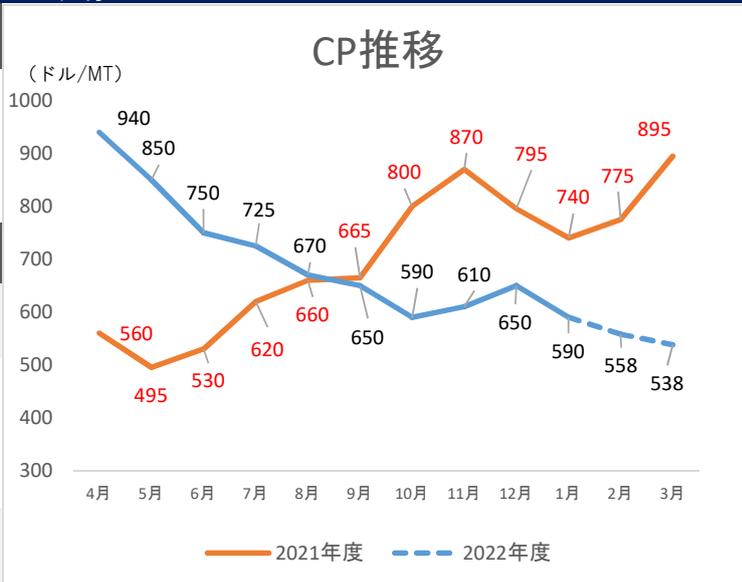
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回
NY/WTI (2月)	72.84
北海Brent (3月)	77.84

LPガス 先物 (USD/MT)		AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比	
CP 2月	558	+4	87%	+2%	
MB 1月	385	+9			
プロパン	3月	4月	5月	6月	7月
CP先物	538	520	505	498	496
プロパン	2月	3月	4月	5月	6月
MB見通し	396	398	396	396	398

外航フレート (USD/MT)		1/5時点			
中東ー日本		85.0			
米国ー日本 (パナマ運河経由)		128.0			
為替/TTS	1月予測	12月	11月	10月	
USD/円	20日	132.77	138.46	146.47	146.84
	末日	132.01	136.09	143.48	148.19

LPG元売り12月改定幅 (円/t)		プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ：	▲9,790	▲5,900
ENEOSグローブ	改定レンジ：	▲9,700	▲5,800
アストモスエネルギー	改定レンジ：	▲9,700	▲5,700
ジクシス	改定レンジ：	▲9,700	▲5,700



マーケット概況

NYダウ (US \$)	今回	33,269.77	TOPIX (円)	今回	1,867.02
S&P500 (US \$)		3,852.97	金 (Gold) 先物 (US \$)		1,856.65
米国債券10年利回り (%)		3.713	VIX恐怖指数 (%)		22.01
日経平均 (円)		25,812.82			

当レポートの内容は伊藤忠エネクス(株)ホームライフ部門 統括部/企画統括課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

IMF専務理事は欧米、中国を中心に2023年世界の3割が景気後退すると発言

原油概況

★2023年景気後退懸念によりWTIは\$70台前半に下落

影響度

強気・
上昇要因

- ① ロシアは2023年原油生産を日量50～70万バレル削減する可能性示唆
- ② 米国の記録的寒波影響でシェールオイル生産設備の一部が稼働停止
- ③ 米国は1億8,000万バレル売却した戦略備蓄石油の積み上げを始める

弱気・
下降要因

- ① 中国の新型コロナウイルス感染急拡大で燃料需要回復期待が後退
- ② EIAは米国の2023年原油生産量を日量1,234万バレルと過去最高の予測（EIA＝米国エネルギー情報局）
- ③ 米国の石油掘削リグ稼働数は779基となり前年同期比193基増加

LPガス概況

★米国LPガス生産増によりCPは今年\$500台を割り込む予測

(強気)

インドの11月LPG輸入量は174万tと前年同月比9.2%増と増加傾向

(弱気)

- ① 米国プロパン在庫が生産拡大により前年同期比24.8%増
- ② 中国の製造業購買担当者景気指数悪化で需要減の可能性

「米国の原油生産状況」

- ・米国はシェール革命以降世界の産油国となっており2023年には過去最高の原油生産が予測されています。
- ・シェールオイルは常に新たな坑井を掘削、生産を始めないと既存油田の生産量減少を賄うことができません。
- ・足元では人手不足や機材不足で開発コストが上昇しており、掘削リグの増加が頭打ちとなりつつありこれ以上の大幅増産は楽観できません。